

石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク設立の目的

石狩川流域には、100年ほど前まで広大な湿原があり、多種多様な野生生物や人間がそこで暮らしていました。現在、わずかに残されたいくつかの湿地(湿原・沼・海岸)では、各地域の団体によって保全や活用が進められています。これらの団体でネットワークを構成し互いの強みを共有することで、個々の湿地の更なる魅力を発掘し、より幅広い市民が希少生物種・湿地への関心を持つことを目指していきます。

WEB <http://ishikarigawa-net.com>

ネットワーク結成呼びかけ団体(準備会メンバー)

【雨竜町】 雨竜沼湿原を愛する会

早春の芽吹きを楽しみ、気象観測機器の設置。夏、ヒグマとエゾシカとニンゲンと植物調査。秋、外来植物防除と機器の回収と清掃登山、湿原に感謝する。



【美唄市】宮島沼の会

ラムサール条約登録湿地「宮島沼」の保全とワイズユースのための調査、環境整備、普及啓発活動をしている市民団体です。



【新篠津村】新篠津ツルコケモモを守る会

2015年秋に再発見された新篠津村の残存高層湿原やその周辺の石狩川下流右岸域の湿地保全を目指し、2016年春に結成。



【石狩市】NPO法人いしかり海辺ファンクラブ

大都市近郊に残された貴重な石狩海岸の素晴らしい環境を多くの人に知ってもらい未来へ残す事を目的に活動しています。



【南幌町】

NPO法人ふらっと南幌 南幌町等の地域住民とともに、幌向運河・耕地防風林・新夕張川等の歴史・産業遺産とその周辺環境の維持・保全・活用に関わる活動をしています。



【札幌市】認定NPO法人カラカネイトンボの会 あいあい自然ネットワーク

札幌市北区あいの里地区を中心に札幌唯一の湿原である篠路福移湿原をはじめ、身近な自然を守る活動を行っています。



NPO法人北海道
NPOサポートセンター

北海道希少生物調査会

プロの生物調査員からなる任意団体。北海道を拠点として希少爬虫類シロマダラの調査研究やコウモリ類の生息状況調査などを行う。

北の里浜 花のかけはしネットワーク

東日本大震災で被災した海浜植生の復元を広域ネットワークで実施。北海道での苗育成と現地での植栽により、学びあい交流を行う。

会場アクセス

札幌市社会福祉総合センター
(札幌市中央区大通西19丁目1-1)

【地下鉄】

東西線 西18丁目駅下車(出口1番)

【JRバス】

「北1条西20丁目」バス停下車 徒歩3分

「長生園前」バス停下車 徒歩1分

【中央バス】

「北1条西20丁目」バス停下車 徒歩3分



参加のお申し込みは電話・FAX、またはメールにて受け付けております。 申込締め切り 3月1日(水)

NPO法人北海道NPOサポートセンター(札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園201号)

【TEL】011-200-0973 【FAX】011-200-0974 【Email】npo@mb.infosnow.ne.jp

参加申込書	ふりがな			懇親会 ○をつけてください	参加する・参加しない・検討中
	氏名				
	住所	〒	-		
	電話		FAX		メール